

ぐるめ散歩

喫茶

ぼえむ 狛江南口店

狛江南口ロータリーに面したぼえむ 狛江南口店は昭和52年に開店した喫茶店で、15席の店内には落ち着いた昭和レトロな雰囲気漂う。

産地や焙煎などの違い、アレンジによって約100種類もあるコーヒーは注文を受けてからペーパードリップで1杯ずついねいにいれている。

「コーヒーハウスぼえむ」のフランチイズだが、店舗のデザイン、食器、コーヒー豆などは共通



森元智子さん

昭和レトロな雰囲気漂う喫茶店 オリジナル軽食メニューが好評

しているものの、提供する軽食などはそれぞれの店が独自の工夫をこらしている。現オーナーの森元智子さん(43)は2代目店長で、約20年前にアルバイトとして働き始め、前オーナー夫妻から11年前に店を譲り受けた。以来、徐々に軽食メニューを増やしており、開店当初から人気のピザトースト、懐かしい味のオムライスなどに加え、知人の農家の完熟朝

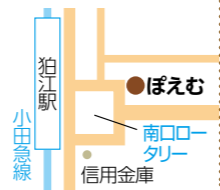
取りイチゴを使ったいちごのレアチーズケーキ、季節の行事にちなんだオリジナルデザインのクッキーも好評。第3水曜日の夜喫茶が人気で、森元さんは「コロナ禍が収まったら以前のように音楽ライブや展覧会なども開いて、街の人の気軽な交流の場にしたい」と話している。

■おすすめMENU■

ブレンドコーヒー各種¥500~/ストレートコーヒー各種¥550~/アレンジコーヒー各種¥580~/①ピザトーストセット¥900/②オムライスセット¥1,000/ドライカレーセット¥1,200/ケーキセット¥800~/③オリジナルクッキー¥180~/モーニングセット¥650/ハムエッグ¥750 (税込)



☎5761-5569 東和泉1-20-2永光ビル1階 営業=午前9時30分~午後9時 木曜日休み



は〜とGoods

素材の持ち味生きる

中国料理のシェフが監修し十和田湖高原ポークと国内産野菜を使った本格派の餃子。保存料や添加物を使わず、素材の持ち味が生きてると好評。

にんにくが入らないプレーン、きのこ、しそとにんにくの4種類がある。

社会福祉法人光友会が運営する就労継続支援B型事業「赤いエプロン」の利用者が1個ずつ包んだ後、マイナス20度以下の冷凍庫で保存して販売。贈答用5パック詰め箱入りなどのネット販売や、市内に限り3パック以上は配達する。焼き餃子の注文にも応じている。価格(12個入り)=プレーン400円、きのこ・しそ420円、にんにく430円

赤いエプロン=岩戸南3-11-9 ☎3489-6452 営業=月~金曜、午前10時~午後5時

8日に駅前ライブ

打楽器の魅力伝えるデュオ

狛江南口駅前ライブが8日(日)正午からえきまえ広場で催される。今回はマリンバ&パーカッションデュオ「アルボル」が出演、春の喜びをリズムカルに演奏し、打楽器の魅力を伝える。

アルボルは、共に狛江市在住のHitomiさん(写真左)、吉田千香さん(写真右)のデュオで、クラシック、タンゴ、ポップスなど幅広いジャンルの音楽をオリジナルのアレンジや即興などを交えて演奏している。当日は道化師のギャロップ、トルコ行進曲、リベルタンゴなどを約45分演奏する予定。入場は無料。雨天時は中止または時間帯の変更あり。

問い合わせ ☎3430-4106 一般財団法人狛江市文化振興事業団。



つなげよう 音楽の架け橋

調布狛江合唱団

昭和39年に結成。合唱部のほか、太鼓と踊りの郷土部がある。合唱部は50~60代を中心に40代から90代の15人が所属、毎週土曜日夜に西河原公民館などで練習している。郷土部は30代を中心に10代から70代の14人が所属、両方の部に所属している人もいます。練習は毎週火・木曜日夜に調布市の石原小学校などで行っている。「うたごえは平和の力」「郷土のうたや踊り・和太鼓を学び発展させる」を合い言葉に5年ごとに創立記念演奏会を催すほか、初夏の音楽会、こまえ平和フェスタなど地域のイベントに参加している。合唱部3,500円、郷土部3,000円 ☎090-3507-9008 鈴木



みんなのうたごえ広場 (写真提供:みんなのうたごえ広場)

なつかしい歌の会

平成19年に結成し、主に60~70代の女性11人が毎月第2・4火曜日に西河原公民館で、外国のフォーク、日本の叙情歌、最近の歌などを斉唱や2部合唱で歌っている。初心者には呼吸法や発声の指導も行う。いべんと西河原に毎年出演している。☎2,300円 ☎0422-42-3515 半田

ピオーネの会

平成21年に結成し、女性20人が毎月第1・3火曜日に南部地域センターに集まり、声楽家から無理のない正しい発声法を学び、昔懐かしい歌から最近の歌、クラシックなどをピアノの伴奏で合唱している。南部地域センターの利用者発表会に出演してい

る。☎2,000円 ☎3489-9909 榎

秀狛登久会

平成22年に結成。94歳を筆頭に70~80代の男性4人、女性5人が毎週月曜日午前に西河原公民館で発声練習や三味線、尺八の伴奏で民謡を歌い、楽しみながらコミュニケーションを深めている。邦楽の集い、いべんと西河原に出演している。☎2,000円 ☎090-8740-0264 原

みんなのうたごえ広場

平成19年に結成し、生伴奏で会場のリクエストによる歌謡曲やフォークソングなど様々なジャンルの歌を斉唱する会を開いている。コロナ禍前は月1回第4水曜日に「みんなの広場」(東和泉

2-20-12)で定例会を催すほか、市内の居酒屋で「うたごえ酒場」を催したり、市内のイベントに参加してきた。現在はYouTubeを利用したライブ配信を続けており、通算150回以上を数える。

また、市の歌「水と緑のまち」や「狛江音頭」、市立小中学校の校歌など狛江市ゆかりの歌の紹介にも力を入れている。だれでも参加できるが、60代以上が多い。☎1回500円 ☎090-9808-2810 大熊

昔の少女合唱団

平成14年に結成。中高年を中心とした女性15人が毎月第1・3木曜日に中央公民館・西河原公民館で練習している。若さと美しさ、健康を保つために腹式呼吸を取り入れて歌う。地域の音楽イベントや銀座、浅草のコンサートに参加するほか、高齢者施設で年4回ボランティアとして演奏している。☎3,000円 ☎2,000円 ☎1,000円 ☎090-9234-5370 千田



秀狛登久会

ラテンを歌う会

令和元年に結成し、主に70代の会員8人が毎月第2・4木曜日に中央公民館に集まり、講師が演奏するギターや太鼓に合わせてサンバ、ボサノバ、タンゴなどラテン系の歌を主に日本語で歌っている。中央公民館ロビーでのミニコンサートやこまえ楽市のコンサートなどに出演した。☎1,000円 ☎3488-4901 伊藤



ラテンを歌う会

■文中の記号■ ☎月会費 ☎費用 ☎入会金 ☎連絡先。会員募集の有無、資格、活動状況などは各サークルへ問い合わせてください。

狛江市音楽連盟

昭和48年に市内のアマチュア音楽団体が集まって創設され、市民の音楽活動を支援・発展させるための活動を行っており、「音楽の街-狛江」の発足時に大きな役割を果たし、協働している。エコルマホールで開かれる「初夏の音楽会」には広いジャンルの音楽団体が多数参加、西河原公民館での「バンドフェスティバル」とともに、アマチュア音楽団体のひのき舞台として貴重な発表の場となっている。